

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
高橋宏和 他	8章 健診・検診の受診と口腔ケア	電子化医療情報を活用した疾患横断的コホート研究情報基盤整備事業(6NCコホート連携事業)	疾患横断的エビデンスに基づく健康寿命延伸のための提言(第一次) Ver.1	電子化医療情報を活用した疾患横断的コホート研究情報基盤整備事業(6NCコホート連携事業)	東京	2021年	61-65
植松孝悦 他	Q5乳がん検診について教えてください。	日本乳癌学会	患者さんのための乳がん診療ガイドライン	金原出版	東京	2019年	39-41
角田博子 他		角田博子・名本路花	知っておきたい乳房の画像診断	秀潤社	東京	2021年	p14-423
角田博子 他		日本医学放射線学会日本放射線技術学会編	マンモグラフィガイドライン第4版	医学書院	東京	2021.4	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
笠原善郎、辻一郎、古川順康、他	第10回全国集計結果報告 全国集計2017年度版(284施設)	日本乳癌検診学会誌	30(1)	47-54	2021
笠原善郎	乳房構成に関する情報提供のあり方について	日本乳癌検診学会誌	30(1)	23-27	2021,
笠原善郎	マンモグラフィ検診の偽陰性の観点から見た高濃度乳房問題 乳房構成に関する情報提供について	公衆衛生	84(3)	188-193	2020
笠原善郎	対策型乳がん検診における高濃度乳房への対応の現状と課題	日本乳癌検診学会誌	28(1)	1-4	2019

笠原善郎	乳がん検診の利益と不利益から見た高濃度乳房への対応について	臨床画像	35(7)	775-780	2019
鈴木昭彦, 石田孝宣, 渡部剛, ほか	最善の検診方法を目指す取り組み	日本乳癌検診学会誌	30(1)	11-14	2021
鈴木昭彦	超音波乳がん検診の可能性 J-STARTからわかったこと	検査と技術	48 (10)	1111-1113	2020
植松孝悦	ブレスト・アウェアネス 乳房の健康教育	日本乳癌検診学会誌	29	27-33	2020
植松孝悦	ブレスト・アウェアネス	乳癌の臨床	35	273-278	2020
植松孝悦	高濃度乳房による検診マンモグラフィ偽陰性問題の正しい対応はブレスト・アウェアネスの啓発です	日本乳癌検診学会誌	30	29-33	2021
Kono K, Morisada T, Saika K, Aoki ES, Miyagi E, Ito K, Takahashi H, Nakayama T, Saito H, Aoki D.	The first-round results of a population-based cohort study of HPV testing in Japanese cervical cancer screening: baseline characteristics, screening results, and referral rate.	J Gynecol Oncol.	32	E29	2021
松本 綾希子, 高橋 宏和, 角田 博子, 鈴木 昭彦, 植松 孝悦, 笠原 善郎.	コロナウイルスの流行が乳がん検診受診意図に与えた影響について	日本乳癌検診学会誌	30	55-59	2021
Ohnuki K, Tohno E, Tsunoda H, Uematsu T, Nakajima Y.	Overall assessment system of combined mammography and ultrasound for breast cancer screening in Japan.	Breast Cancer	28(2)	254-262	2021